

2022年10月17日

各位

会社名 イヴレス株式会社
(コード番号 7125 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 CEO 山川 景子
問い合わせ先 執行役員 CFO 兼 管理本部長 佐川 輝
T E L 03-5579-9490
U R L <https://ivresse.jp/>

第三者割当による発行する新株式の発行に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、第三者割当による新株式（以下、「本株式」と言います。）の発行（以下、「本第三者割当増資」と言います。）を行うことについて、以下の内容で決議したことをお知らせ致します。

記

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2022年10月28日
(2) 発行新株式数	普通株式 12,500株
(3) 払込金額	払込金額 1株につき2,400円 払込金額の総額 30,000,000円
(4) 資本組入額	資本組入額 1株につき1,200円 資本組入額の総額 15,000,000円
(5) 募集又は割当方法	第三者割当の方法による。
(6) 割当先及び株式数	割当先 合同会社ユープランニング 株式数 12,500株

本第三者割当増資は、本日開催された臨時株主総会において、会社法第200条に基づき、特に有利な払込金額をもって発行する株式の発行株数の上限を54,000株とし払込金額の下限を1株2,400円として同株主総会開催日から1年以内に実施する募集株式の発行について、募集事項の決定を取締役に委任することを特別決議にて承認されたことを踏まえて、当社取締役会において具体的な募集事項及び割当先を決定したものでございます。

2. 本第三者割当増資の目的及び理由

当社は、将来の新型コロナウイルス感染症の収束による国内宿泊需要の反動増に備えて経費節減に努める一方、新規施設の開業、人材確保含む体制整備、業務効率化のためのシステム投資を行う必要があると考えております。

本第三者割当増資を実施した場合には、株主の持分割合の希薄化が生じるとともに、当社のコーポレート・ガバナンスへ影響を及ぼすものとなることから、第三者割当増資の規模及び引受先の選定に関して、慎重に検討を行って参りました。

しかしながら、アフターコロナを見据えた当社の経営基盤の強化のためには、エクイティ・ファイナンスによる資金調達が必要であると判断致しました。本第三者割当増資における調達資金を、上記投資に充てることにより、将来の成長に向けた事業基盤の強化等を通じた収益力の向上が期待でき、当社の財務基盤の強化並びに安定化も図ることが出来ると考えております。

このような当社の経営状況を鑑み、早急かつ確実に資金調達を行うには、本第三者割当増資が相当であると判断致しました。

3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

払込金額の総額	発行諸費用の概算額	差引手取概算額
30,000,000 円	1,350,000 円	28,650,000 円

(注) 発行諸費用の概算額には、登記費用や株主総会開催費用が含まれております。

(2) 調達する資金の具体的な用途

具体的な用途	金額	支出予定時期
新設備開業関連	5,000,000 円	2022 年 11 月～2023 年 6 月
システム投資関連	5,000,000 円	2023 年 4 月～2023 年 10 月
その他事業資金など	18,650,000 円	2022 年 11 月～2023 年 10 月

(注) 調達した資金を実際に支出するまでは当社取引銀行口座にて管理する予定です。

新設備開業に関しては、新たにオープンする施設において使用する備品等の購入費用に充当する予定としております。システム投資に関しては、主に事業部門の業務効率化を図っていくことを目的に有効なシステムの新規導入を進めて参る予定です。その他事業資金については、アフターコロナに備えた事業資金として充当することを予定しております。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

上記「2. 本第三者割当増資の目的及び理由」に記載の通り、当社は経営基盤の強化が必要であると判断しております。本第三者割当増資における調達資金を、上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の投資に充てることにより、将来の成長に向けた事業基盤の強化等を通じた収益力の向上が期待でき、当社の財務基盤の強化並びに安定化も図ることが出来ると考えております。

従って、資金使途には合理性があると判断しております。

5. 発行条件等の合理性

（1）払込金額の算定根拠及びその具体的内容

払込金額の決定に際しては、当社普通株式は、2021年7月28日に株式会社東京証券取引所が運営する TOKYO PRO Market へ上場しておりますので、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠し、本第三者割当増資に関する当社取締役会決議日の直前営業日の東京証券取引所における当社普通株式の終値、当該取締役会決議日の直前営業日の1カ月間の終値平均値、3カ月間の終値平均値、6カ月間の終値平均値、いずれかの株価に0.9を乗じた額以上の払込金額を設定するのが通常です。

しかし、東京証券取引所 TOKYO PRO Market はプロ向けの株式市場であり、流動性が極めて低く、2021年7月28日の成立値段以降、2021年11月16日に同成立値段にて第三者割当増資を実施しましたが、その後は売買実績がなく、同日の終値である2,400円が特に有利な金額による発行に該当する可能性もございます。よって、上記払込金額の下限を発行価額とする本第三者割当増資は、会社法第200条第2項に定める特に有利な金額による発行に該当すると判断される可能性も否定できないため、慎重な手続きを経る観点から、募集株式委任に係る臨時株主総会において、発行価格の下限を1株2,400円として株主の皆様から特別決議による承認を頂いておりますことを踏まえ、当社取締役会にて1株2,400円と決定しました。

（2）発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により新規に発行される株式数は12,500株（議決権125個）であり、募集株式委任に係る臨時株主総会にて株式発行数の上限を54,000株として承認を頂いている範囲であり又本第三者割当増資前（2022年10月17日現在）の当社の発行済株式数618,000株（議決権6,180個）に対する割合は議決権個数ベースで2.0%と僅少であり、希薄化の規模に関して既存株主に対して合理的な水準であるものと判断しております。

6. 本第三者割当先の選定理由

（1）第三者割当先の概要

名称	合同会社ユープランニング
所在地	大阪市中央区島之内一丁目11番30号
代表者の役職・氏名	代表社員 竹本美佳
事業内容	経営コンサルタント業務
資本金	5,700万円
設立年月日	平成4年1月10日
業務執行社員	浮舟邦彦、竹本美佳、浮舟廣子
上場会社との関係	
資本関係	割当前 当社株式を17,100株保有
人的関係	なし
取引関係	なし
関連当事者への該当状況	なし

当社は、割当先の実態について、過去の第三者割当実施時に日経テレコンを用いて調査を実施しており、また、インターネット検索サイトにおいて、同社、同社の出資者についてキーワード検索を行うことにより収集した情報の中から、反社会的勢力等を連想させる情報及びキーワードを絞り込み、複合的に検索する方法で反社会的勢力とのかかわりを調査した結果、反社会的勢力との関係を有している事実は確認されませんでした。さらに当社は、割当先が反社会的勢力との関係がない旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

(2) 第三者割当先の選定理由

当社は、当社の置かれた現状、課題及び当社の事業内容、事業計画についてもご理解頂けること並びに当社の経営の独立性が確保されること等を割当先の選定方針として割当先候補との接触を重ね、検討を行って参りました。割当先の概要及び選定理由は以下に記載の通りであります。

合同会社ユープランニングの業務執行社員浮舟邦彦氏は当社代表取締役の知己であり、浮舟氏は個人としても当社株式を保有しております。浮舟氏は長年の経営者としてのご経験や知見が豊富であり、株主としての助言等を通じて、当社企業価値向上のためにご協力頂ける可能性も秘めており割当先として選定致しました。

(3) 割当先の保有方針

当社は、割当先から当社の安定株主として本株式を中長期に渡り保有する意向であることを、口頭にて確認しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集後の大株主の状況（見込）	持株比率（見込）%
アヴィ株式会社	65.8
山川 景子	17.4
浮舟 邦彦	4.8
合同会社ユープランニング	4.7
山川 徳久	3.2
株式会社バンブーフールド	2.7
松田 梨絵	0.8
株式会社 Hobart	0.6

8. 今後の見通し

当社は本第三者割当が、当社の企業価値及び株主価値の向上に資するものであると考えておりますが、現時点における2022年10月期の業績への具体的な影響額については軽微であります。また、2023年10月期以降の業績への具体的な影響額については、12月に公表予定の2023年10月期の業績予想において開示する予定です。

9. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の連結業績

回次		第29期	第30期	第31期
会計期間		自2018年11月1日 至2019年10月31日	自2019年11月1日 至2020年10月31日	自2020年11月1日 至2021年10月31日
売上高	(千円)	966,557	1,036,538	1,072,423
営業利益又は営業損失(△)	(千円)	2,323	31,769	△70,272
経常利益又は経常損失(△)	(千円)	2,356	43,637	△63,008
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	(千円)	△3,609	2,930	△65,497
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	(円)	△6.42	5.05	△112.93
1株当たり配当額 (うち1株当たり中間配当額)	(円)	— (—)	— (—)	— (—)
1株当たり純資産額	(円)	132.27	137.32	24.39

(注) 2021年3月5日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。第29期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり中間(当期)純損失(△)を算定しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（2022年10月17日現在）

	株式数 (株)	発行済み株式数に 対する比率
発行済株式数	618,000	100%
現時点の転換価額（行使価額）に おける潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

回次	第29期	第30期	第31期
決算年月	2019年10月	2020年10月	2021年10月
始値（円）	—	—	—
最高（円）	—	—	2,400
最低（円）	—	—	2,400
終値（円）	—	—	2,400

- (注) 1. 株価は、東京証券取引所 TOKYO PRO Market におけるものであります。
2. 当社株式は、2021年7月28日から東京証券取引所 TOKYO PRO Market に
上場しております。

②最近6ヶ月間の状況

月別	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月
最高（円）	—	—	—	—	—	—
最低（円）	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年4月から2022年9月については売買実績がありません。

③決議日前営業日における株価

	2022年10月14日
始値（円）	—
最高（円）	—
最低（円）	—
終値（円）	—

(注) 2022年10月14日については売買実績がありません。

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

①第三者割当による新株式の発行

① 払込期日（発行日）	2019年6月28日
② 発行新株式数	普通株式数 60株
③ 払込金額	払込金額 1株につき1,000,000円 払込金額の総額 60,000,000円
④ 発行時における調達 予定資金の額	59,500,000円
⑤ 割当先及び株式数	割当先 浮舟 邦彦 株式数 60株
⑥ 発行時における当初の 資金使途	その他事業資金など 60,000,000円
⑦ 現時点における充当 状況	発行時における資金使途は以下のとおり、充当して おります。 その他事業資金など 59,500,000円

(注) 2021年3月5日付けで、普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますが、上記の発行数、発行価格及び行使時の払込金額は分割前の内容を記載しております。

②第三者割当による新株式の発行

① 払込期日（発行日）	2021年11月16日
② 発行新株式数	普通株式数 38,000株
③ 払込金額	払込金額 1株につき2,400円 払込金額の総額 91,200,000円
④ 発行時における調達 予定資金の額	90,000,000円
⑤ 割当先及び株式数	割当先 合同会社ユープランニング 株式数 17,000株
	割当先 株式会社バンブーフィールド 株式数 17,000株
	割当先 株式会社Hobart 株式数 4,000株
⑥ 発行時における当初の 資金使途	人材費関連 20,000,000円 外注費関連 20,000,000円 システム投資関連 10,000,000円 その他事業資金など 40,000,000円
⑦ 現時点における充当 状況	発行時における資金使途は以下のとおり、充当して おります。 人材費関連 20,000,000円 外注費関連 20,000,000円 システム投資関連 1,000,000円 その他事業資金など 40,000,000円

以 上